

『紡ぐ』

発行 教育相談室「あした塾」 発行責任者 滝井元之
連絡先 927-0014 石川県鳳珠郡穴水町堀りの197
☎ 0768-56-1152 (自宅 ☎ 0768-56-1151)

私たちは生きています

少しずつでも前に進みませんか。

令和6年1月1日、思いもよらぬ大地震が能登半島を襲いました。穴水町は死者20名、重軽傷者257名、そして家屋等の被害は全壊にわたり、全壊500棟を含め、ほとんどの家が損傷するという大被害となりました。3ヶ月という月日が経ちますが、まだまだ先が見える状況にはなっていない。

それでも、全国からの多くのボランティアの皆さんの力を借りながら、行政、社協、市民の皆さんの努力により、少しずつ復旧、復興への道を歩んでいます。春は来ている。遠い道のりではあり



(川島地区内の仮設住宅)

すか、みんな声をかけ合い、力を出し合って前に進みませんか。仮設住宅が建ちはじめ、入居が進んできました。以前の日常ではありませんが、気持ち落ち着けるようになってほしい。

仮設住宅は、ほぼ集落ごとに13ヶ所建てられることになっています。(広報あすなろ、第3号参照)

ボランティアの活動



↑ 住吉公民館では穴水中学校の卒業生の状況調査をした。
3月25日、栃木県の中学生がボランティアに。



↑ 家具等を起し片付け作業を。
← 瓦礫を集め仮置場へ。



北陸中日新聞
北陸文芸会
二席

倒壊した残った部屋で覚悟を決め、激しい余震をひたひたやり過ごす。
梶 室木正武
太陽が射している互様の被災地に、雑草のびおりと希望のごとく
大町 泉 氏子

紡ぐ発行にあたって
一月一日以降、三ヶ月発行を予定していますが、町が前に進む力になるよう頑張ります。(T)

(被災者や関係する写真を使いざるを得ませんでした。皆さんに伝えるためです。ご理解ください。)

歴史の証者として

悲しくて。辛くて。苦しくて。でも、水が/月/日に起った今の穴水町の現象です。被災した人たちの気持ちも思いがけず、敢えて、この水の写真を掲載します。17年前の「能登半島地震」とともに「令和元年 能登半島地震」の現象を、その体験と教訓を後世に伝える責任が私たちにあります。



(潮騒の道は、何ヶ所も崖崩れが...)



能登大仏 周辺は、ことごとく破壊されています。大仏も極楽橋は無事。



甲 地内は家屋の倒壊の他、津波の被害もありました。舟が陸の上へ。



大島町 の被害は甚大でした。→



明泉寺 国指定の重要文化財、石造五重塔は倒壊を免れましたが、いくつもの損傷が...



中居 地内は家屋はほとんど全壊... (悲)



由比佐 大規模な崖崩れで多くの犠牲者が出ました。どうして、ここ。どんな教訓を導き出せるのか...



水源地 山間部集落の水源地は修復はうまい状態に...



土砂だ 土砂が川をせき止め、行き場を失った水が田んぼに... (藤巻地内) 今は元川。田んぼは壊滅

3月25日は2007年能登半島地震から17年でした。

この地震も忘れずにはいける歴史年のです。